

●「開耶香房(農村カフェ)」レポート(高松市)

投稿者: H・I(70代・女性)

【4月頃体験・団体で】

施設を訪れたきっかけは、牟礼町の「里山づくり」グループで、ハーブの寄せ植え体験に参加するためでした。

土作りの説明や、植物の名前と育て方、水やりの仕方等々、わかりやすくすごく楽しくできました。

平成23年。公淵公園での緑化教室の授業の一環で、開耶香房さんの講義を受けました。その時にノートに取ったのが、今も手許に残っています。

我が家でも、少しですが、ハーブを植えています。香りを楽しんだり、摘み取って玄関前に吊るしたり、それを乾燥させて下駄箱の中で防臭剂的な使い方をしたりして楽しんでいます。

4月の体験日は、宵からの雨で沿道はしっとりとして、ハーブが一段と生き生きとして、楽しい体験に元気がもらえました。開耶香房の施設は、側面に山をいただく自然環境が抜群で、ハーブが育つ条件としては最高だと思いました。

将来、牟礼の里山にも、ハーブの香りと花を楽しめたり、お茶を楽しめたり、皆で賑やかに集える「カフェ」に近いもの、そんな理想郷が作れたらと思います。

もちろん1人ではできませんが、これからグループの仲間が増え、笑顔いっぱいの里づくりが進められればと夢を描いています。

